

～商工会議所・商工会の会員の皆さまへ～

PET/CT 検診（がん検診）が「商工会議所・商工会割引」で利用できます。

通常の検診料
93,500 円（税込）

5,000 円割引

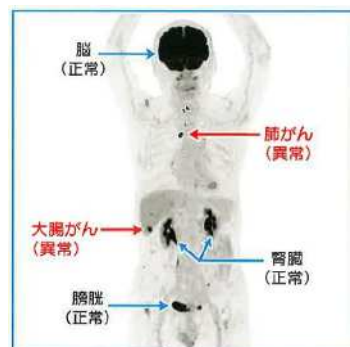
割引後の検診料
88,500 円（税込）

とやま PET 画像診断センター（富山市蜷川）は、商工会議所・商工会会員の「健康経営」（役員・従業員）を応援します。

PET/CT 装置



PET の全身画像



PET 検査は、放射性薬剤を注射し各臓器の細胞の活動状態を撮影する診断技術で、ほぼ全身が一度に検査できます。

◎ 利用時の注意事項等

- (1) 保険診療による受診は、対象外です。
- (2) **受診には予約が必要**です。電話、ホームページ等で予約をお願いします。
- (3) 予約時には、①「商工会議所・商工会割引」を受けたい旨、②事業所名、③事業所が属する商工会議所・商工会名をお知らせください。
- (4) 同時に受け入れることのできる利用者数には上限があります。
- (5) 「商工会議所・商工会割引」と他の割引とを併用することはできません。
- (6) 検査の詳細等は、当センターのホームページでご確認ください。

医療法人財団 とやま医療健康センター
とやまPET画像診断センター

富山市蜷川 388 番地 TEL076-411-5200
<https://www.pet-toyama.jp>



とやまPET画像診断センター

医療機関と連携して
がんの診療を
サポートします



ご予約
お問い合わせ

TEL (076) 411-5200
[月～金曜日 9:00～17:00]

<https://www.pet-toyama.jp>



料 金

●保険診療

3割負担の方で約3万円
1割負担の方で約1万円

●検診・自費診療

93,500円(税込)

検 診 項 目

- PET/CT
- 胸部CT
- 内臓脂肪

※検診・自費診療の場合、割引制度もございますのでお気軽にお問い合わせください。詳しくはホームページあるいはお電話でご確認ください。

保険適用範囲

●悪性腫瘍

悪性腫瘍の全て(早期胃がんを除く)が対象になります。

●てんかん、虚血性心疾患、心サルコイドーシス、大型血管炎

※PET検査を受ける方の状態や検査内容により医療保険が使えない場合があります。

予 約 方 法

●現在疾患等で通院・治療されている方

主治医の先生より当センターにお電話いただき、検査日時を予約していただきます。

●検診のためにPET検査を受けられる方

直接当センターにお電話をいただき、予約日時を決めていただきます。

交通のご案内



富山駅前から
富山地方鉄道バス5番乗り場
[最勝寺経由 笹津・猪谷・新保企業団地ゆき] 最勝寺バス停下車 徒歩約5分



N
4
+

見つかるものなら、
早く見つけたい。

一度に全身を
見る事ができれば…。

がん治療の効果を
確かめたい。

そんな願いに応える PET/CT検査センターです。

とやまPET画像診断センターは、県内全域の医療機関が、がんの診療や健康診断にPET/CT検査を共同利用することを目的としてつくられたPET/CT検査専門の施設です。

PET/CT検査には、こんな特徴があります。

- 全身を一度に撮影できます。
- 痛みや苦痛の少ない検査です。
- がんの早期発見に有用です。
- 腫瘍病変が見つかった場合、がん病変か良性病変かの推定が可能です。
- がん病変の拡がりを確認するために有用です。
- ステージ診断により、適切な治療方針が立てられます。
- 転移・再発の確認に有用です。
- 化学療法や放射線治療法などの効果判定に有用です。
- 多くのがんで保険が適用となります。

PET検査は、放射性薬剤を体内に入れ、各臓器の細胞の活動状態を撮影する先端の診断技術で、ほぼ全身が一度に検査できます。
※PET(ペット):Positron Emission Tomography(陽電子放射線断層撮影)



PET/CT装置

PET/CT検査のしくみ

がん細胞は、 食いしん坊！



がん細胞は、正常細胞より多くのブドウ糖を消費します。この性質に着目したのが、PETによるがん検査です。ブドウ糖に似せた放射線を出す薬剤(FDG)を使って、PET装置で撮影すると、がん病変は光って見え、どこにがんがあるかがわかります。

悪い病変ほど、よく光る？

みるみる大きくなる、転移しやすいなど性質の悪いがんであればあるほどたくさんの薬剤が集まるので、強く光って見えます。

ただし、徐々に大きくなっていくようなおとなしいがんの場合には薬剤が集まりにくく、PET検査でも異常が出ないことがあります。

光っているところは、 すべて、がん？

脳や心臓など、ブドウ糖を使って正常に活動している臓器にも検査薬が集まるので、光っている場所すべてが、がん病変ではありません。

また、薬剤は尿に交じって身体の外に排泄されるので、腎臓や膀胱なども強く光って見えます。(図1)

PET画像全身(図1)



※使用するFDG薬とはブドウ糖に似た放射線医薬品であり、副作用はほとんどありません。※検査終了後は普段通りの生活ができます。

PET検査の流れ

検査には、3時間程度を要します。

検査前

予約時間の最低5時間前から、絶食してください。糖分を含まない飲み物(水・白湯)は飲んでもかまいません。



問診

検査に必要なことをおたずねします。



薬剤注射

検査のための薬剤を注射した後、1時間ほど安静にさせていただきます。



撮影(1回目)

お向けの状態で全身の撮影を行います。(約10分)



安静待機

撮影終了後待機室にて安静にさせていただきます。(約30分)



撮影(2回目)

追加撮影を行う場合があります。(約5分)



検査結果

保険診療の方は後日、主治医から検査結果の説明を受けます。検査の方へは、検査結果報告書を郵送いたします。

